



戦争法（「安保法」）は国会を通ったが・・・



日本美術会岩手写生会（合宿）にて

衆議院に続き、参議院の安保法特別委員会でも強行採決された。十八日夜、国会前で公述人は怒った。「意見を聞きたいと公聴会を開きながら、それを論議もしない」と。委員会では総括質問の時間を設ける筈だったが、自公議員が怒号を上げ、委員長を取り囲み「質疑を打ち切り、可決した」とした。書記は何も聞き取れず記録が無い。

「憲法を守れ」の声の中で

アベ自公政権は、現行憲法発足以来、歴代政権が維持した「集団的自衛権は憲法違反」との解釈を百八十度変えた。

武装親衛隊が国会を取り囲みヒトラーはクーデター。ヒトラーに無制限の立法権を与える全権委任法を通した。

しかし、その当時と違

い、国会を取り囲んでいたのは「憲法を守れ」と叫ぶ国民だ。

何で戦争参加を急ぐ？

「米戦車と闘うより、戦車への砲弾の補給を絶て」「自衛隊を攻めろ」と考えるのが当然。弾薬補給ルートが最も危険な戦場にすぐ変わる。米軍はそれを自衛隊にやらせたいのだ。

一方、財界はどうか？ ジョン・ダワーの「敗北を抱きしめて」（岩波書店）には、日本の戦時体制下で旧財閥に資本が集中したとある。民衆は家族、家財を喪う中で、勤労員でただ働き。財界は大儲け。

国民の多くは戦争法反対だ。多数の声で自衛隊海外派兵を阻止しよう。皆さんはどう思われますか？

北上川の盆地

二〇一五年九月 岩手県花巻市 胡四王山から

北上川は長さも、流域面積も日本で第四位の大河。傾斜が緩やかな為、大量の水もゆったりと流れる。このゆったり感が私は好きだ。

その流れが作った北上盆地を見渡せるところが、あると日本美術会の岩手

の会員に導かれた。宮澤賢治記念館の先にある胡四王山だ。

盛岡高等農林で学び、農業指導にあたった宮澤賢治も、この丘から北上盆地を眺めただろう。この盆地にもっと豊かな農業を・・・と。